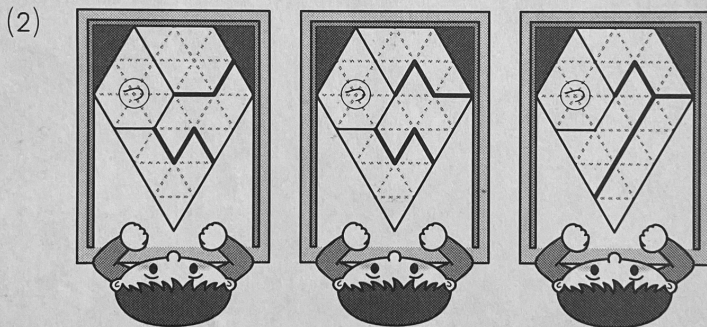


答え

- ① (1) 943 (2) 1978 (3) 42 (4) 97902 (5) 114
 (6) 108 (7) 101(あまり)3 (8) 3(kg)975(g)
 (9) 10(時間)15(分)
- ② (1) 2(時間)5(分) (2) 42(こ) (3) 6(本)
 (4) A...4 B...8 C...6 D...3 (5) 7(こ) (6) 15(こ)
- ③ (1) あ...26 い...8 う...3 (2) え...14 (3) お...4 か...6
- ④ (1) ア...1 イ...4 ウ...2 エ...5 オ...4 カ...7
 (2) ① 長いひも...6(cm) 短いひも...3(cm)
 ② 長いひも...4(cm) 短いひも...2(cm)
 (3) 147(cm) (4) 20(cm) (5) 23(本)
- ⑤ (1) (図1)...え→く→お→け→こ→か→き
 (図2)...さ→そ→す→た→せ→し→ち



《保護者の方へ》

配点 150点満点

■は1問として採点

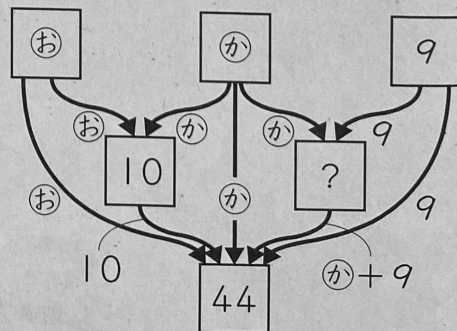
- ① 6点×9 ② 6点×6 ③ (1) 3点×3, (2)(3) 5点×2
 ④ (1) 2点×3, (2) 3点×2, (3)~(5) 4点×3 ⑤ (1) 4点×2, (2) 9点

解説

③ 数の問題

矢印のわきに上の□から下りてくる数や記号を書き込みながら考えます。

- (3) 図から、 $\textcircled{お} + \textcircled{か} = 10$, $\textcircled{お} + 10 + \textcircled{か} + \textcircled{か} + 9 + 9 = 44$ とわかります。よって $10 + 10 + 9 + 9 + \textcircled{か} = 44$ となるので、 $\textcircled{か} = 6$, $\textcircled{お} = 10 - 6 = 4$ です。



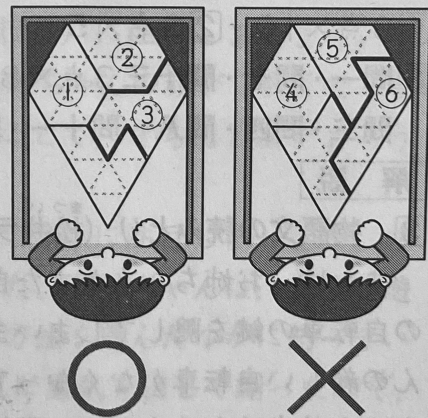
④ 規則性

- (1)より、〈長いひも〉は〈短いひも〉よりも3本少なくなることがわかります(A)。また(2)より、〈長いひも〉は〈短いひも〉の2倍の長さになることがわかります(B)。(3)(4)(5)は、これらの規則を利用して解きます。
- (3) 〈長いひも〉は、Aより $9 - 3 = 6$ (本)、Bより $7 \times 2 = 14$ (cm)です。したがって、もとのひもの長さは $7 \times 9 + 14 \times 6 = 147$ (cm)です。
- (4) 〈長いひも〉は、Aより $11 - 3 = 8$ (本)です。またBより、〈長いひも〉1本は〈短いひも〉2本に置き換えられるので、〈長いひも〉8本は〈短いひも〉16本分にあたります。したがって、もとのひもの長さ270cmは〈短いひも〉27(=11+16)本分の長さになります。よって〈短いひも〉の長さは $270 \div 27 = 10$ (cm)、〈長いひも〉の長さは $10 \times 2 = 20$ (cm)です。
- (5) Bより、〈長いひも〉は $6 \times 2 = 12$ (cm)ですので、〈長いひも〉1本と〈短いひも〉1本の長さの合計は $12 + 6 = 18$ (cm)です。またAより、もとのひもの長さ198cmから〈短いひも〉3本分の長さを取り除いて $198 - 6 \times 3 = 180$ (cm)とすると、これを、〈長いひも〉と〈短いひも〉が等しい本数だけ集まった長さであると考えることができます。したがって $180 \div 18 = 10$ で〈長いひも〉は10本、〈短いひも〉は $10 + 3 = 13$ (本)であるとわかります。したがってひもは全部で $10 + 13 = 23$ (本)です。

⑤ 平面図形

- (2) たとえば(図1)の①②③のような形の板を並べる場合、①を先に置くとそのあとに②を並べることができなくなりますが、②→①→③の順に並べれば移動の途中でぶつかることなく置くことができます。しかし(図2)の④⑤⑥のような形の板の場合、どのような順番で並べようとしても板と板が移動の途中でぶつかってしまいます。そのようなならない板の形と並べ方を調べると、**答え**の3通りに決まります。

(図1) (図2)



答え

- ① 1 なか (ば) 2 しんきゅう 3 つか (える) 4 集合
5 球根 6 薬局 7 始発 8 石油 9 太陽
10 親身

- ② 1 オ 2 イ 3 ア 4 エ 5 カ

- ③ 問一 (1)…エ (2)…ア (3)…オ (4)…イ

問二 おねえちゃんの自転車の^{じてん}かぎをかくせば、自転車にのれなくなり、あそびに出かけられないので、自分とあそんでくれるかもしれないということ。 問三 イ 問四 イ

問五 自分がかぎをかくしたせいで、自転車のかぎを見つけられず、友だちとあそびに行けずに^お落ちこんでしまったおねえちゃんを見て、うしろめたく思ったから。

問六 おねえちゃんは、見あたらない自転車のかぎのことが気になり、ゆかとのあそびに^{しゅうちゅう}集中できなかつたから。

- 問七 (1) ア (2) エ 問八 ウ 問九 イ 問十 ウ

- 問十一 ア 問十二 おいてけぼり 問十三 (1) イ (2) エ

- 問十四 ア

《保護者の方へ》

配点 150点満点

- ① 3点×10 ② 3点×5

- ③ 問一・問七・問十三 3点×8, 問二・問五 12点×2,

問三・問四・問八～問十一・問十四 6点×7, 問六 10点, 問十二 5点

解説

- ③ 物語文の読みとり (松井ラフ『白い自転車、おいかけて』^{ピーエイチビーけんきゅうしょ} P H P 研究所)

ゆかは、お姉ちゃんがまた自分と遊んでくれるように、出来心でお姉ちゃんの自転車の鍵を隠してしまいます。しかし、そのことがきっかけで、お姉ちゃんの新しい自転車がなくなってしまいます。その後、自転車が見つかり、二人がまた仲良くなるまでの、登場人物の気持ちを読みとりましょう。

問二 ゆかの行動に注目し、お姉ちゃんの自転車の鍵がなくなれば、どのようなことにつながるのかを考えましょう。

問三 問二で確認した通り、ゆかはお姉ちゃんの自転車の鍵を隠してしまいました。この場面では、ゆかは自分が自転車の鍵を隠したことを、何も事

情を知らないお姉ちゃんに気づかれてしまうことに、緊張していたことがわかります。

問五 ——線④の直前（2ページ21～24行目）に注目します。お姉ちゃんがどのような理由で友達と遊びに行くことができず、泣いてしまったのか考える必要があります。

問六 ——線⑤の直前の「その間に」に注目しましょう。「その間」とは、さらに前（2ページ29～30行目）を指しています。ここから、お姉ちゃんの、ゆかとの遊びに集中できていない様子がわかります。

問七 ——線⑥の直前（3ページ6～10行目）に注目しましょう。「目をかがやかせて」とあるように、悲しんでいたお姉ちゃんが、予備の鍵を手に入れて喜んでいる様子がわかります。自転車の鍵をなくす前のお姉ちゃんの様子と、そのようなお姉ちゃんに対してゆかがどのような不満を持っていたのかを確認して解きましょう。

問八 ——線⑦の直前（3ページ31行目）の泣いているお姉ちゃんに対してのゆかの反応が——線⑦なのだわかります。ゆかは、お姉ちゃんの言動から、自分がしてしまった事の大きさを知って、心が落ちつかなくなり、足が震えているのだと考えましょう。

問十 ——線⑨の直前の「だって、おねえちゃんの自転車がなくなったのは、わたしのせいなんだもの」というゆかのセリフに注目しましょう。お姉ちゃんは、このゆかのセリフに対して、ゆかのせいで自分の自転車がなくなったことが理解できずに「ぼかん」としたのです。

問十一 ——線⑩の直前（4ページ17～20行目）に注目しましょう。正直に自分のしてしまったことを話した時、お姉ちゃんの顔がこわくなりました。しかし、ゆかは、「がんばって」言うことで、きちんとあやまろうと決心しているのです。

問十三 ——線⑫の直前（4ページ22～23行目）に注目しましょう。ゆかが本当のことをお姉ちゃんに打ち明けました。お姉ちゃんは、自分と遊んでもらうために、自転車の鍵を隠すという方法を選んだゆかに怒っています。しかし、怒ろうとしても、ゆかが正直に勇気を出して謝ったので、怒ることはできず、困ってしまったのです。

問十四 問十三で確認した通り、ゆかは素直にお姉ちゃんへ自分の寂しかった気持ちを伝えました。ゆかの思いを受け止めたお姉ちゃんは、ゆかに「あそんで帰ろっか」と提案したり、後ろをついてくるゆかに合わせて自転車をこいであげたり、「時どきふりかえりながら」ゆかを気づかってあげています。

66-75
1111
東京
(2019年3月10日実施)

3月度入室・組分けテスト

新4年(現3年)

[答えとかいせつ]

5. 平面図形

(1) たとえば(図1)の

板を並べる場合、①と②

と②を並べることも

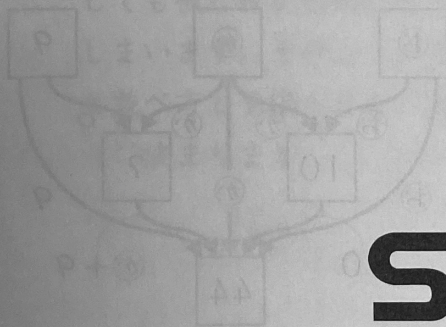
点線より問1は

中で、①と②を並べる

①と②を並べる場合、

板の場合、①と②を

しても板を並べる



SAPIX
サピックス